

事務事業名		各種スポーツ大会運営支援事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業			
政策体系	政策名	03 豊かな心をはぐくむ人づくりの推進		事業期間		予算科目			
	施策名	17 スポーツ・レクリエーションの振興				会計	款	項	目
	基本事業名	03 スポーツ・レクリエーション活動の推進				01	10	06	01
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ		02 23			
所属	部課名	教育委員会事務局生涯学習課		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和27 年度～)		事務事業区分 A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)			
	課長名	熊谷 善男		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】					
	係名	体育振興係	電話	27-3111					
	担当者	富山 智門	内線	273					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
<p>・スポーツの振興、市民の体力向上及び健康の増進、競技力の向上を図るとともに、スポーツによる交流人口の拡大を目的として、大船渡新春四大マラソン大会、大船渡ポートサイドマラソン大会、大船渡ポートサイドバレーボール大会を開催する。</p> <p>・市の事務は、主催団体の一員として各大会実行委員会への参加、大船渡市体育協会と連携して実行委員会事務局の運営、当日の大会運営全般等。</p> <p>・事業費は、各大会実行委員会への補助金である。</p> <p>・上記大会とは別に県大会以上のスポーツ大会を市内で開催する場合にも、補助金を支出している。</p> <p>・平成29年度より各種大会開催助成事業(ID1012)を含む。</p>				総投入量 (千円)	事業費	国庫支出金			
					財源内訳	都道府県支出金			
					地方債				
					その他				
					一般財源	事業費計(A)	0		
					人件費	正規職員従事人数			
延べ業務時間									
人件費計(B)		0							
トータルコスト(A)+(B)		0							

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
<ul style="list-style-type: none"> ・大船渡新春四大マラソン大会、大船渡ポートサイドマラソン大会、大船渡ポートサイドバレーボール大会の開催 ・全日本学童軟式野球大会岩手県大会 		ア	実行委員会開催数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	補助金交付団対数
<ul style="list-style-type: none"> ・大船渡新春四大マラソン大会、大船渡ポートサイドマラソン大会、大船渡ポートサイドバレーボール大会の開催 ・全日本学童軟式野球大会岩手県大会 ・岩手県民体育大会(サッカー競技) 		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市体育協会		名称	
		単位	
		カ	大会申込者数
		キ	市内で開催された県大会数
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
円滑に事業運営してもらう		名称	
		単位	
		サ	大会参加者数
		シ	補助金額
		ス	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
<ul style="list-style-type: none"> ・競技のレベルアップ ・大会の充実、参加者の満足度アップ 			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)
投入量	事業費	単位						
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
	一般財源	千円	3,300	1,700	3,550	3,300	4,500	2,250
	事業費計(A)	千円	3,300	1,700	3,550	3,300	4,500	2,250
	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
	延べ業務時間	時間	800	800	700	700	700	700
	人件費計(B)	千円	3,200	3,200	2,800	2,800	2,800	2,800
トータルコスト(A)+(B)	千円	6,500	4,900	6,350	6,100	7,300	5,050	
⑤ 活動指標	ア	回	6	6	6	6	6	6
	イ	団体	1	1	2	1	1	1
	ウ							
⑥ 対象指標	カ	人	965	1,000	849	1,000	1,000	1,000
	キ	回	1	1	2	1	1	1
	ク							
⑦ 成果指標	サ	人	4,000	3,537	2,851	4,000	4,000	4,000
	シ	千円	3,300	1,700	3,550	3,600	4,005	4,006
	ス							

事務事業ID	1008	事務事業名	各種スポーツ大会運営支援事業
--------	------	-------	----------------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 新春四大マラソン大会：昭和27年に東南区駅伝競走大会が開催され、その後、三大会が追加された。平成13年に10マイルロードレースが50回を数えたことを契機として、これまで開催してきた四大会を総称して新春四大マラソンとしている。ポートサイドマラソン大会：1984年ロサンゼルスオリンピックに女子マラソン日本代表として出場した佐々木七恵氏を顕彰し、それに続くランナーの発掘・養成等を目的に1988年から開催している。ポートサイドバレーボール大会：1992年バルセロナオリンピックにバレーボール日本代表として出場した栗生澤淳一氏を顕彰し、平成8年から開催されている。平成27年から小学生を対象として再開した。補助金事業：市内の協会等から、市内で県大会以上の大会を開催する場合の補助金を要望され、大会運営を支援するための事業として実施している。	
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・スポーツ人口を拡大するため、県大会等を誘致して市民がスポーツに触れる機会を設けることは、スポーツ振興を図るうえで重要なことであり、補助金の支出は円滑な大会運営はもとよりスポーツ振興にも寄与するものである。 ・平成28年度のポートサイドマラソン大会は希望郷いわて国体のデモンストレーション競技として実施した。	
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ マラソン：警察署より、全ての交差点に走路員を配置し、安全対策に配慮するよう求められている。また、交通規制中にコース内に誤って車両が進入するケースが毎年散見されており、強く指導を受けている。医療関係者からはポートサイドマラソン大会の夏期開催は避けるよう提言を受けており、30年度から9月開催に移行したところである。 補助金：大会運営のノウハウ蓄積や参加者の満足度向上のために、サービス提供の費用が年々増加し運営には苦慮しているが、参加料の増額は参加者減少を招く危険もあり実現性に乏しく、補助金の増額が強く望まれている。また大会規模と補助金額のミスマッチが起きており、補助金額の見直しが必要である。	

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ・陸上競技(マラソン・駅伝)及びバレーボールの普及を図ることによって、当市のスポーツレクリエーション活動の推進に寄与している。 ・補助金を交付することにより各協会が主管する大会の円滑な運営が図られ、また育成支援にもつながっている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 当市出身のアスリートを顕彰する大会、また県大会以上の高レベルの大会を当市で開催することで、市民のスポーツに対する意識向上、体力づくりのきっかけを作ることは市で行うべき体育振興事業そのものである。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 大会の規模から鑑みて、参加対象と競技人口の裾野を広げる大会の意図は妥当である。補助金についても用途を明確に定めており、対象・意図ともに妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 レース終了後のサービスの提供や参加賞等の工夫により、更なる参加者の増加を図ることは可能である。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ・当市を代表する各種大会はスポーツイベントであると同時に観光客集客の大きなイベントでもあり、大会の廃止は交流人口に大きな影響を及ぼすこととなる。 ・補助金の有無は大会の存続に関わる大きな要素であり、上記影響等も考えると廃止することは不可能である。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・近年のジョギングブームにより他市町村でも魅力的なマラソン大会が数多く開催されているため、これ以上の事業費削減は他大会と比べサービスの低下を招くことになり、大会を続ける以上は削減は不可能である。 ・補助金は現時点で必要最低限の金額であり、削減の余地はない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 市の担当と指定管理者である大船渡市体育協会が大会の運営を行っているが、他課からも動員を要請しどうにか大会運営を行っているのが現状であり、人件費削減の余地は残されていない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公費による補助金の使途は限定されており、また参加者からも参加料を徴収しているため費用負担は公平なされている。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性		(2) 改革・改善による期待成果																			
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	平成28年度までは各種大会参加者は増加傾向にあり、ノウハウの蓄積により大会運営や参加者の満足度は毎年向上している。今後は他大会との比較に耐えうる大会の特色づくりに努める。	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																					
マラソン大会が隆盛を極める昨今、大船渡ならではの特色を打ち出し安定的に参加者を確保するには、サービスや満足度といったレースそのものの質を向上させる必要があり、そのために補助金の効果的な投入、またはスポンサーの確保による磐石の大会運営が必要となってくる。																					

4 課長等意見	
(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	「競技力向上」、「健康増進等」、従来のスポーツ大会に求められる成果に加え、「交流人口拡大」、「経済波及効果」など、スポーツ大会に求められる多様な効果が得られるよう、取り組む必要がある。